

令和6年度 第6回

10月 倫理・利益相反委員会 会議記録概要

日 時：令和6年10月28日（月） 15:00～15:30

場 所：第1診療棟6F 特別会議室

出席者： 委員長 加知輝彦

副委員長 伊藤健吾

委 員 八谷寛、服部一郎、福田昌子、村上健次、平岩勝、櫻井孝、
近藤和泉、瀬瀬伸子

出席委員数/全委員数： 10人/12人

審議事項

申請課題数：新規申請課題 2件

その他審議事項は特になし

申請課題について

No. 1	受付番号：1847 課 題 名：LIFE 情報を活用した介護プロセスの feasibility 研究 申 請 者：島田 裕之 審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。 倫理審査結果：条件付き承認（修正内容の確認をもって承認とする。） 〈条件〉 1. 施設利用者用の説明書＞「3」に、施設利用者向けのLIFEの説明を追記してください。 2. 社会的ケア関連QOL（ASCOT）＞「介護者用」で、「ケアラー（介護者）」とは、介護施設職員のことでしょうか。もし、施設入所者の家族などの介護者であれば、対象者に追加してください。 利益相反審査結果：非該当で承認
-------	--

No. 2	受付番号：1850 課 題 名：MCI や認知症の人に対する e スポーツと電子機器を用いた認知・身体・社会的・複合介入の実施可能性についての検討 申 請 者：大沢 愛子 審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。 倫理審査結果：条件付き承認（修正内容の確認をもって承認とする。） 〈条件〉 1. 説明書（両方）で、「若年者」や「若者」の記載は、「療法士・学生」に修正してください。また、学生については主に実習生である旨を、初出に括弧書きで追記してください。 2. 説明書（若年者）＞「4）」で、「eスポーツを行っている際・・・」は、脳活リハ参加者のみが対象になる旨を追記してください。 利益相反審査結果：非該当で承認
-------	---